

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年8月3日

## 【評価実施概要】

事業所番号	272400359		
法人名	社会福祉法人緑鷗会		
事業所名	グループホームみどり		
所在地 (電話番号)	〒038-3661 青森県北津軽郡板柳町福野田字実田54-4 (電話) 0172-79-1150		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年6月29日	評価確定日	平成21年8月3日

## 【情報提供票より】(平成21年6月9日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 12年 12月 12日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤 14人, 非常勤 人, 常勤換算	12.8人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	6,000 円
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,000 円			

### (4) 利用者の概要(6月9日現在)

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護1	3 名	要介護2	4 名
要介護3	5 名	要介護4	3 名
要介護5	2 名	要支援2	1 名
年齢 平均	81.3 歳	最低	60 歳
		最高	93 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	渡部胃腸科内科医院、下田クリニック、諏訪歯科
---------	------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

町の中心部に位置しており、地域との交流も十分に図れる環境にある。建物前の道路ではネプタ運行や消防のパレード等も行われ、職員も参加し、利用者はすぐ目の前で見物でき、地域での生活をより身近に感じながら生活することができる。母体の運営するクリニックが隣接しており、緊急時にもすぐ連携できる体制が確保されており、利用者・家族の安心にもつながっている。
---

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価後には全職員に内容を周知し、改善事項についても共有し話し合いは行われていたが、その後改善シート等は作成されておらず、改善に向けた積極的な取り組みは見られていない。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員が自己評価の記入に際して参加しており、全員で意識付けようとする姿勢は見られ、ケアの改善に向けての努力が伺えた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	外部評価の内容・結果について、またホームの活動状況や行事などについて会議において報告し、参加者の意見を聞いてサービスの向上に反映させている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	面会時には意図して要望や意見を引き出すようにしており、家族の不安の除去に努め、運営に反映できるよう努力している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	隣接するディサービスを利用している地域住民の訪問等も徐々に増えており、また町内の行事への参加等も浸透してきており、地域との交流が図られている。

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	昨年、地域との交流の文言を追加し理念の見直しを行っている。パンフレットやホールに掲示し、誰でも確認出来る体制が出来ている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	地域密着型サービスの機能を確認し、地域住民として生活を継続する目的で、職員が理念を考えている。地域行事に参加したり、町会長と協同してホームが提供出来る行事を検討したり、地域交流に前向きに取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	母体法人が町内会に加入しており、職員がネプタ祭りに参加し、それを利用者が地域住民と一緒に見学している。日常的にも、前庭で行われている野菜や花作りに近隣住民からアドバイスを受ける等の交流がある。又、管理者は、キャラバンメイト登録しており、要請があればいつでも対応できる体制が出来ている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>全職員で自己評価を行い、外部評価の結果についても関係機関及び全職員に報告している。但し、課題に対して具体的な改善策を打ち出す等の取り組みがなされていない。</p>		<p>全職員で評価結果を確認し、課題を共有した上で、改善シート等を活用しながら、優先順位を決めサービスの向上に取り組まれる事を期待します。</p>
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回確実に実施されており、家族・地域・行政の参加も定着している。ホームの活動状況や外部評価の結果報告等が行われている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>書類関係で不明な点は都度担当者に確認をとり指導を受けたり、報告事項が発生した場合も書面に先駆け一報し、状況報告と共に情報の共有を図り、関係作りに努めている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在権利擁護事業を利用している入居者がおり、制度の活用がスムーズに継続できるよう、全職員が制度の内容について学習し周知している。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員が虐待防止に関する外部研修へ参加し、学んだ内容については報告書を回覧している。日常的には、言葉遣いや、対応姿勢で少しでも危険の潜在が考えられる時は、その都度注意している。</p>		<p>研修報告は回覧確認されていますが、受け手が虐待防止についての正しい理解と、関連法を学ぶという意識統一が無ければ、効果は漠然としたものになりがちであるため、全職員が理解出来るように、虐待防止関連の資料を基に内部学習会を開き、周知徹底されることを期待します。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居面接時に説明を行い、不明な点や疑問・不安についても引き出し、理解されるまで繰り返し説明、納得の上で契約の取り交わしを行っている。制度改正や、加算適用時にも、面会や電話を利用してその都度説明を行っている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>3ヶ月毎に全家族に対し便りを発行、個々の状況やホームの活動を報告している。又、預かり金の取り扱いも、職員2名で担当し出納帳記入と、定期的に家族から確認印をもらう等内部の役割も明確になっている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時には意図して要望や意見の引き出しに努め、計画の見直し時にも、必ず家族の意見を取り入れる事を徹底している。面会の確保が困難な場合は、連絡をとり家を訪れて意見を伺っている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>退職者そのものが少ない事もあり、利用者へ改まった形での報告はしていない。新採用については、紹介の機会を設定し受け入れをスムーズにする努力をしている。これまで明記するような利用者の反応は観られない。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>昨年まで、系列の各グループホームから5人位参加し毎月ミーティングを行い、情報交換や、対応方法、又、人間関係等について学習会を行っていた。今年に入り活動が停止しており、内部研修の実績は無く、外部研修の機会も少ない。</p>		<p>職員の資質向上を図り、ケアに反映させる為にも、定期的な内部研修の実施や、経験や立場に応じた外部研修参加の場を確保されることを期待します。</p>
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所の管理者と個別に情報交換は行なっているものの、同業者間の交流は殆ど無い。</p>		<p>町内の他グループホームでも殆ど交流が無い状況であり、同業の課題として捉え、率先して働きかけネットワーク作りを行ない、地区全体の事業所の質を確保する事を期待します。</p>
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前に本人・家族に見学してもらい、環境の適応を支援すると共に、入居後も現況報告と家族からの細かい聞き取りを行い日々の介護に反映、生活の継続を支援されている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>生活行為の中で、協力出来る方には率先して役割を持ってもらい、職員も生活の知恵を伝授してもらいながら共に作業している。又、書道教室開講当時の弟子が現在も指導を受ける目的で来訪し、職員も共に指導を受け、相互に支え合う関係が作られている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃から出来るだけゆっくりと話を聞く対応をとっており、本人の希望を把握し、生活を支援している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居時から定期及び随時に、本人が望む生活のあり方を確認し、意向を網羅した介護計画を各担当者が作成している。それらを基本に作成担当者が、毎月のミーティングで全職員に確認、意見を吸い上げ総体的な介護計画を作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回、及び状態変化や緊急で見直しが必要な事案が発生した時等、介護計画の見直しが行われている。家族の意見も面会時や電話での聞き取りで必ず取り入れている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院時は事業所の車両で送迎、又理美容についても入居前からの馴染みの店の利用を支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前から母体のクリニックが主治医となっているケースが多く、継続支援している。他、歯科や眼科等専門の診療科目については本人や家族の希望に合わせ受診を支援している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居面接の段階で家族に説明、希望された場合は対応している。母体のクリニック医師、看護師と連携し常に連絡を取れる体制を確保、又、細かくカンファレンスを行い、職員の意思統一も図られている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	管理者は、プライドを尊重した言葉掛けや援助を行うと共に、介護の各場面でもプライバシー - 保護を優先するよう指導している。記録物に関しては全て事務室保管とし、外部の目に触れないように配慮している。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活のペースとなる日課はあるものの、個人の心身状況や、思いを大切に、その人のペースにあわせた支援が展開されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>系列施設の栄養士が作成した献立を基本に、利用者の希望を取り入れたり、隣近所から差し入れてもらった野菜等を使い別メニュー - を考えたりしながら食を提供している。又、個々の機能に合わせ、食事前後の片付けを職員と一緒に行ってもらう、役割を持ちながら生活出来るように配慮している。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週3回の入浴が実施されている他に、夜間や希望時に随時対応するという柔軟な体制が確保されている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>家族の意向も確認し、作業に参加してもらったり、書道教室を開いていた方に先生になってもらい書を楽しんだり、俳句の嗜みを持つ方に指導を頼んだり、個々の特技を生活の中に取り入れ、活気のある生活が展開されている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>ホーム周辺の散歩は毎日行われ、日常的に外出の場面が確保されている。他、隣接のデイサ - ビスの外部行事に同行したり、地区の季節の行事に出掛けたり、買い物希望に対しても個別に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束に関する職員間の意識は個々に持っているものの、ホーム自体の方針や職員が外部に対して明確に説明出来る体制が整っていない。</p>		<p>安全を確保し自由な暮らしを支援する為、身体拘束の弊害を認識し職員間の意思統一が図られるよう、勉強会を開き拘束に関する正しい理解と共有が図られるよう期待します。</p>
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関の出入りはセンサ - で感知しており、日中に於ける施錠は無い。単身で外出した場合も、職員が見守りを行い安全を確保している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回防災訓練実施、通報・避難誘導訓練も同時進行で行っている。運営推進会議や町会の集まり等で、有事の際の地区住民の協力を依頼している。</p>		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>系列施設の栄養士が献立を作成し、カロリー - は確保されている。摂取状況や水分量も毎日のチェック表で把握出来ている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルが作成されており、流行時にはミ - ティングで留意点を確認し合い、対策を講じている。調理関連の物品は、毎日消毒を行い、衛生管理に努めている。</p>		<p>マニュアルの内容が最新の指導と相違あり、対策としても十分カバー出来る内容とは判断し難く、最新の情報と具体的な対策を盛り込んだマニュアルの整備が求められます。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>調理場から居間が見え、作業をしながら利用者の安全を確認出来る作りになっている。換気・採光も程良く、各居室には温度計がありこまめにチェックが行われ、快適な環境となっている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室の入り口には、利用者手作りのそれぞれ異なる柄の暖簾が掛けられ、家庭的な雰囲気を醸し出している。又、居室内も個人が使い慣れた家具等持ち込まれ個人の空間として馴染んでいる。</p>		

 は、重点項目。